

2023年8月28日

課題名：心臓血管外科術後透析患者における抜管遅延とフェンタニル投与量の関係について

◆研究の目的と概要◆

当院では、心臓血管外科術後患者さんの抜管までにかかる時間を調べています。本研究では、その中でも透析の有無に着目し、より早く抜管をして早く元気になっていただくことを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2021年8月から、2023年7月までの間に心臓血管外科で手術を受けた患者さんのうちICUに挿管のまま入室された方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、手術方法、既往歴、薬剤歴、透析実施の有無、手術時間、人工心肺時間、重症度、挿管期間、フェンタニル投与量、採血データ

◆情報の研究利用開始日◆

2023年10月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
集中治療科 研究責任者 鈴木 康大

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）  
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明